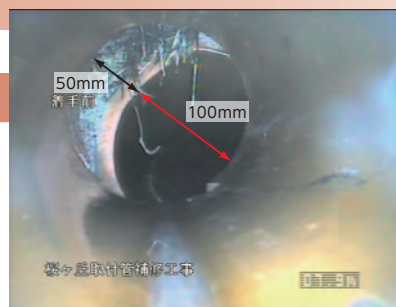


# 部分補修（熱硬化）

## 1 部分補修（熱硬化）… 取付管の段差切削及びちび弾丸による補修

**状況**  $\phi 150$ HPの取付管において、大きな段差が確認された。写真からのスケールアップでは、有効径が100mmであった。

**対策** 社内で現状を再現して、切削及び補修のテストを行ない、現場施工を試みた。



段差50mmの再現



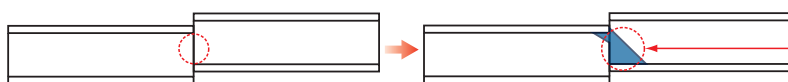
有効径100mm



切削した後の補修後



カメラ付き切削機

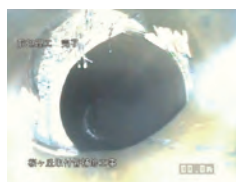


水色部分を切削することにより、有効口径が大きく確保できる。

現場での  
実施工



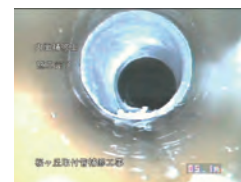
切削中



切削後



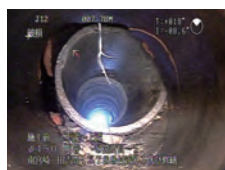
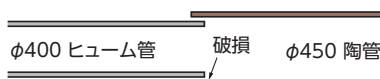
補修中



補修後

## 2 部分補修（熱硬化）… 異径管の補修

**状況**  $\phi 450$  陶管に  $\phi 400$  ヒューム管を差し込んだ部分が破損。

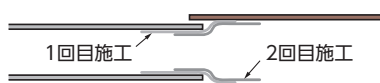


施工前



施工中

**補修方法** 熱硬化 $\phi 400$ ロング施工機を使用し、補修材は幅60cm  $\phi 450$ 用を使用。自立管強度が必要であったため、標準Ⅲ仕様（BM9セット+ガラスマット1P） $t=12.2$ mm 2回張り施工。



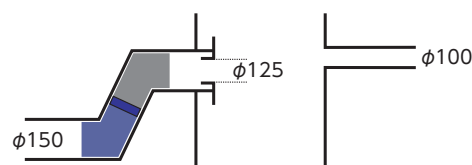
1回目施工後



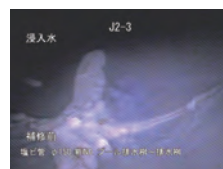
2回目施工後

## 3 部分補修（熱硬化）… プール配水管の止水

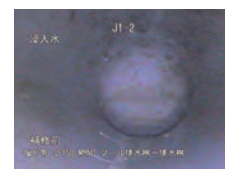
**状況** まずから先の $\phi 150$ の曲管部よりの漏水。まず内の下流管口は  $\phi 125$ 。



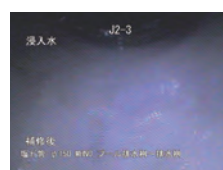
**対策**  $\phi 150$ 用のちび弾丸にて曲管部の補修を行う。補修材料は、曲管部にフィットするように伸縮ガラスクロス・伸縮不織布を使用。



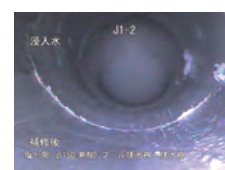
施工前



施工前



施工後



施工後

**注意!** プール等の配管の施工については、環境ホルモンの関係をよく調べてから行うこと。